

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3206560号
(U3206560)

(45) 発行日 平成28年9月23日 (2016. 9. 23)

(24) 登録日 平成28年8月31日 (2016. 8. 31)

(51) Int. Cl. F 1
F 2 1 S 6/00 (2006. 01) F 2 1 S 6/00 5 0 1

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願2016-3319 (U2016-3319)
(22) 出願日 平成28年7月11日 (2016. 7. 11)(73) 実用新案権者 516207805
森 真寿美
大阪府吹田市山田東 1-8-1
(74) 代理人 100080746
弁理士 中谷 武嗣
(72) 考案者 森 真寿美
大阪府吹田市山田東 1-8-1

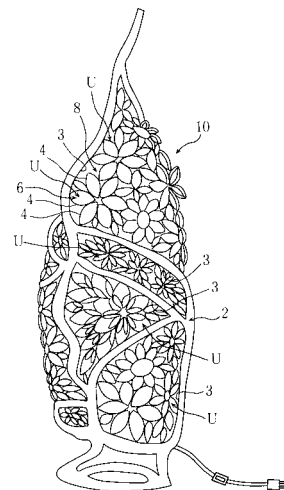
(54) 【考案の名称】 照明スタンド

(57) 【要約】

【課題】 手造り感に溢れ、芸術的にも優れた味わい深い形状の照明スタンドを提供する。

【解決手段】 内部に照明具を内装した照明スタンドに於て、複数の窓部 3 を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠 2 と、トイレットペーパーの芯を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体 4 を、複数個相互接着して、かつ、複数個の単体 4 の一方の開口部を塞ぐように和紙 6 が貼られて形成された模様ユニット U と、を有する。立体枠 2 の窓部 3 の内部に模様ユニット U が接着にて固設されている。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

立体形状のスタンド本体（10）と、該スタンド本体（10）に内装される照明具（1）とを、備えた照明スタンドに於て、

上記スタンド本体（10）は、

複数の窓部（3）を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠（2）と、トイレットペーパーの芯（P）を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体（4）を、複数個相互接着して、かつ、該複数個の単体（4）の一方の開口部（9）を塞ぐように和紙（6）が貼られて形成された模様ユニット（U）と、を有し、

10

上記立体枠（2）の上記窓部（3）の内部に模様ユニット（U）が接着にて固設されていることを特徴とする照明スタンド。

【請求項 2】

立体形状のスタンド本体（10）と、該スタンド本体（10）に内装される照明具（1）とを、備えた照明スタンドに於て、

上記スタンド本体（10）は、

複数の窓部（3）を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠（2）と、トイレットペーパーの芯（P）を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体（4）を、複数個相互接着して、かつ、該複数個の単体（4）の一方の開口部（9）を塞ぐように和紙（6）が貼られて形成された模様ユニット（U）と、を有し、

20

上記立体枠（2）の上記窓部（3）の内部に模様ユニット（U）が接着にて固設されており、

上記模様ユニット（U）と上記模様ユニット（U）の間、及び、上記模様ユニット（U）と上記立体枠（2）との間に、光及び空気が通る隙間（8）が形成されていることを特徴とする照明スタンド。

【請求項 3】

立体形状のスタンド本体（10）と、該スタンド本体（10）に内装される照明具（1）とを、備えた照明スタンドに於て、

上記スタンド本体（10）は、

複数の窓部（3）を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠（2）と、トイレットペーパーの芯（P）を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体（4）を、複数個相互接着して、かつ、該複数個の単体（4）の一方の開口部（9）を塞ぐように和紙（6）が貼られて形成された模様ユニット（U）と、を有し、

30

上記立体枠（2）の上記窓部（3）の内部に模様ユニット（U）が接着にて固設されており、

上記模様ユニット（U）は花型であることを特徴とする照明スタンド。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】**

40

【0001】

本考案は、照明スタンドに関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、照明スタンドとして、シェード等の内部に照明具を内装したものが知られている（例えば、特許文献1参照）。

【0003】

しかし、照明具を囲むシェード等が、円筒状、半球状、角状等のシンプルでありふれた形状であり、手造り感がなく、面白味に欠けるという欠点があった。

【先行技術文献】

50

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】実開平5-57705号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

解決しようとする課題は、手造り感がなく、華麗さや優美さや面白味に欠ける点である。

【課題を解決するための手段】

【0006】

10

そこで、本考案に係る照明スタンドは、立体形状のスタンド本体と、該スタンド本体に内装される照明具とを、備えた照明スタンドに於て、上記スタンド本体は、複数の窓部を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠と、トイレットペーパーの芯を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体を、複数個相互接着して、かつ、該複数個の単体の一方の開口部を塞ぐように和紙が貼られて形成された模様ユニットと、を有し、上記立体枠の上記窓部の内部に模様ユニットが接着にて固設されているものである。

【0007】

また、立体形状のスタンド本体と、該スタンド本体に内装される照明具とを、備えた照明スタンドに於て、上記スタンド本体は、複数の窓部を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠と、トイレットペーパーの芯を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体を、複数個相互接着して、かつ、該複数個の単体の一方の開口部を塞ぐように和紙が貼られて形成された模様ユニットと、を有し、上記立体枠の上記窓部の内部に模様ユニットが接着にて固設されており、上記模様ユニットと上記模様ユニットの間、及び、上記模様ユニットと上記立体枠との間に、光及び空気を通る隙間が形成されているものである。

20

【0008】

また、立体形状のスタンド本体と、該スタンド本体に内装される照明具とを、備えた照明スタンドに於て、上記スタンド本体は、複数の窓部を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠と、トイレットペーパーの芯を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体を、複数個相互接着して、かつ、該複数個の単体の一方の開口部を塞ぐように和紙が貼られて形成された模様ユニットと、を有し、上記立体枠の上記窓部の内部に模様ユニットが接着にて固設されており、上記模様ユニットは花型である。

30

【考案の効果】

【0009】

本考案の照明スタンドによれば、変化に富んだユニークな形状としたり、華麗さや優美さのある照明スタンドとすることができる。すなわち、手造り感に溢れ、芸術的にも優れた味わい深い形状にできる。

【図面の簡単な説明】

40

【0010】

【図1】本考案の実施の一形態を示す正面図である。

【図2】図1の一部拡大図である。

【図3】トイレットペーパーの芯の切断位置を示す斜視図である。

【図4】単体の一例を示す斜視図である。

【図5】単体の他例を示す斜視図である。

【図6】単体の他例を示す斜視図である。

【図7】単体の他例を示す斜視図である。

【図8】単体の他例を示す斜視図である。

【図9】模様ユニットの一例を示す正面図である。

50

【図 10】図 9 の A - A 断面図である。

【図 11】模様ユニットの他例を示す正面図である。

【図 12】照明具の配設位置を示す正面図である。

【考案を実施するための形態】

【0011】

以下、図示の実施の形態に基づいて本考案を詳説する。

図 1 は、本考案の実施の一形態を示し、この照明スタンドは、立体形状のスタンド本体 10 と、スタンド本体 10 に内装される照明具 1（図 12 参照）とを、備える。スタンド本体 10 は、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠 2 を有する。立体枠 2 は、複数の窓部 3 を有する。

10

【0012】

図 1・図 2 に示すように、立体枠 2 の窓部 3 の内部に、模様ユニット U が接着にて固設されている。模様ユニット U は、円形または木の葉型に形成した単体 4 を、複数個相互接着して、かつ、複数の単体 4 の一方の開口部 9（図 10 参照）を塞ぐように和紙 6 が貼られて形成される。図 2 に於て、和紙 6 は、点々を施した部分である。単体 4 は、トイレットペーパーの芯 P（図 3 参照）を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、形成される。図 9・図 10 に示すように、模様ユニット U は、例えば、花型である。模様ユニット U と模様ユニット U の間、及び、模様ユニット U と立体枠 2 の窓部 3 との間に、部分的に和紙 6 が存在していない隙間 8 が設けられる。

【0013】

20

次に、本考案の照明スタンドの製法について説明する。まず、立体枠 2 となる天然の木の枝あるいはつるを湯で炊く。そして、所望の形状に曲げて立体枠 2 を製作する。乾燥後、立体枠に照明具 1 を固着する。照明具は、棒状、球状等、形状は自由であり、白熱電燈、蛍光燈、LED 等いずれの種類のもので良い。

【0014】

図 3 に示す 2 点鎖線位置で、トイレットペーパーの芯 P を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形（図 4 参照）または木の葉型（図 5～図 8 参照）に形成した単体 4 を作製する。「木の葉型」には、レモン型、カヌー型、目型を含むものとする。図 4 は、単体 4 が円形の場合を示す。図 5 は、単体 4 が 1 枚の木の葉型の場合を示す。図 6 は、単体 4 が 2 枚の木の葉型の場合を示す。図 7 は、単体 4 が一部切断された木の葉型の場合を示す。図 8 は、単体 4 が一部切断後接着して完全な 1 枚の小さな木の葉型とされた場合を示す。

30

【0015】

そして、図 9・図 10 に示すように、模様ユニット U は花型である。単体 4 を、花型に配設して相互に接着剤にて接着し、かつ、複数の単体 4 の一方の開口部 9 を塞ぐように和紙 6 を接着剤にて貼付して、模様ユニット U を形成する。図 9 は、木の葉型の単体 4 のみによって花を構成した場合を示す。図 11 は、円形の単体 4 と一部切断された木の葉型の単体 4 とによって花を構成した場合を示す。このような模様ユニット U を、立体枠 2 の窓部 3 の内部に接着剤にて接着にて固着する。ひとつの窓部 3（図 1 参照）の内部に、ひとつの模様ユニット U を配設しても良いし、複数の模様ユニット U を配設しても良い。複数の模様ユニット U を配設する場合、隣り合う模様ユニット U と模様ユニット U も接着する。模様ユニット U と模様ユニット U の間、及び、模様ユニット U と立体枠 2 との間に、光及び空気が通る隙間 8 が形成されている。

40

【0016】

なお、本考案は、設計変更可能であって、例えば、立体枠 2、単体 4、及び、和紙 6 の一部又は全部を着色するも好ましい。また、模様ユニット U が、花型以外の形状を含んだり、模様ユニット U 全体が、花型を含まない形状であっても良い。また、単体 4 相互の接着は省略しても良い。さらに、立体枠 2 に防虫剤を塗布しておくのも好ましい。

【0017】

以上のように、本考案は、立体形状のスタンド本体 10 と、該スタンド本体 10 に内装され

50

る照明具 1 とを、備えた照明スタンドに於て、上記スタンド本体10は、複数の窓部 3 を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠 2 と、トイレットペーパーの芯 P を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体 4 を、複数個相互接着して、かつ、該複数個の単体 4 の一方の開口部 9 を塞ぐように和紙 6 が貼られて形成された模様ユニット U と、を有し、上記立体枠 2 の上記窓部 3 の内部に模様ユニット U が接着にて固設されているので、天然の素材（天然の木の枝あるいはつる）を生かし、変化に富んだユニークな形状としたり、華麗さや優美さのある照明スタンドとすることができる。すなわち、手造り感に溢れ、芸術的にも優れた味わい深い形状にできる。また、和紙 6 に皺が生じない。また、木の枝やつるによって形成された非幾何学的な窓部 3 に合わせて、窓部 3 の内部をユニークな形状に弯曲させることができて美しい。さらに、トイレットペーパーの芯 P を用いているので、形状保持性が良い。

10

【0018】

また、立体形状のスタンド本体10と、該スタンド本体10に内装される照明具 1 とを、備えた照明スタンドに於て、上記スタンド本体10は、複数の窓部 3 を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠 2 と、トイレットペーパーの芯 P を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体 4 を、複数個相互接着して、かつ、該複数個の単体 4 の一方の開口部 9 を塞ぐように和紙 6 が貼られて形成された模様ユニット U と、を有し、上記立体枠 2 の上記窓部 3 の内部に模様ユニット U が接着にて固設されており、上記模様ユニット U と上記模様ユニット U の間、及び、上記模様ユニット U と上記立体枠 2 との間に、光及び空気が通る隙間 8 が形成されているので、天然の素材（天然の木の枝あるいはつる）を生かし、変化に富んだユニークな形状としたり、華麗さや優美さのある照明スタンドとすることができる。すなわち、手造り感に溢れ、芸術的にも優れた味わい深い形状にできる。

20

【0019】

また、和紙 6 に皺が生じない。また、木の枝やつるによって形成された非幾何学的な窓部 3 に合わせて、窓部 3 の内部をユニークな形状に弯曲させることができて美しい。さらに、トイレットペーパーの芯 P を用いているので、形状保持性が良い。また、外部の壁等に映る影が美しく見える。特に、光が乱反射した際、美しく見える。

【0020】

また、立体形状のスタンド本体10と、該スタンド本体10に内装される照明具 1 とを、備えた照明スタンドに於て、上記スタンド本体10は、複数の窓部 3 を有し、天然の木の枝あるいはつるにて形成された立体枠 2 と、トイレットペーパーの芯 P を輪切り、乃至、輪切りかつ一部切断して、円形または木の葉型に形成した単体 4 を、複数個相互接着して、かつ、該複数個の単体 4 の一方の開口部 9 を塞ぐように和紙 6 が貼られて形成された模様ユニット U と、を有し、上記立体枠 2 の上記窓部 3 の内部に模様ユニット U が接着にて固設されており、上記模様ユニット U は花型であるので、天然の素材（天然の木の枝あるいはつる）を生かし、変化に富んだユニークな形状としたり、華麗さや優美さのある照明スタンドとすることができる。すなわち、手造り感に溢れ、芸術的にも優れた味わい深い形状にできる。

30

【0021】

また、和紙 6 に皺が生じない。また、木の枝やつるによって形成された非幾何学的な窓部 3 に合わせて、窓部 3 の内部をユニークな形状に弯曲させることができて美しい。さらに、トイレットペーパーの芯 P を用いているので、形状保持性が良い。また、華やかなデザイン形状とすることができる。

40

【符号の説明】

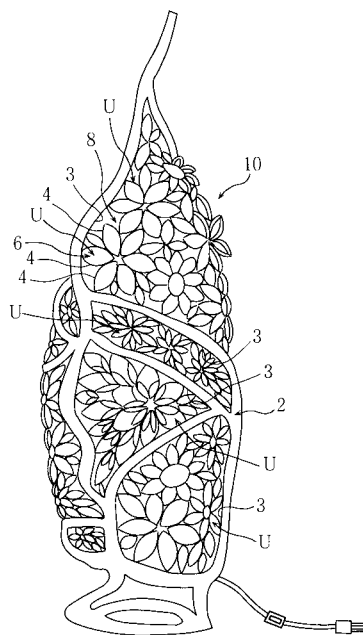
【0022】

- 1 照明具
- 2 立体枠
- 3 窓部
- 4 単体

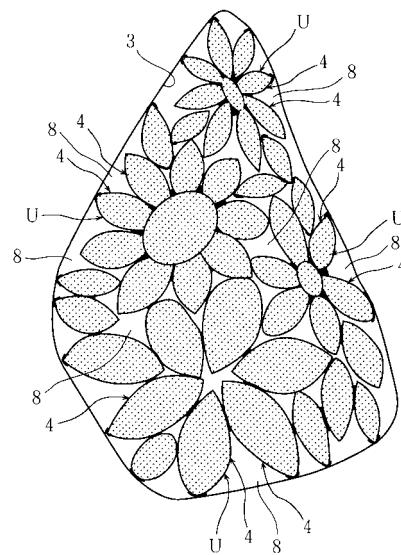
50

- 6 和紙
- 8 隙間
- 9 開口部
- 10 スタンド本体
- P トイレットペーパーの芯
- U 模様ユニット

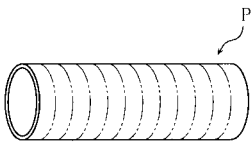
【図 1】



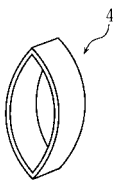
【図 2】



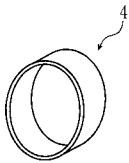
【図 3】



【図 5】



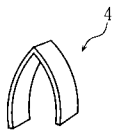
【図 4】



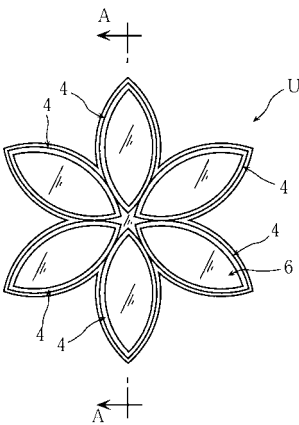
【図 6】



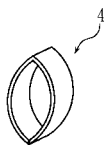
【図 7】



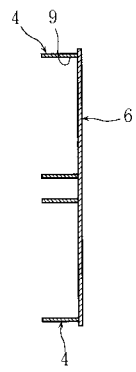
【図 9】



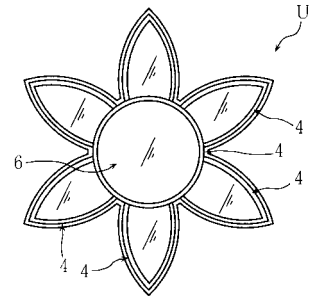
【図 8】



【図 1 0】



【図 1 1】



【図 1 2】

